

県立病院ニュース

親切

信頼

進歩

平成22年度 第2号 平成22年9月17日発行

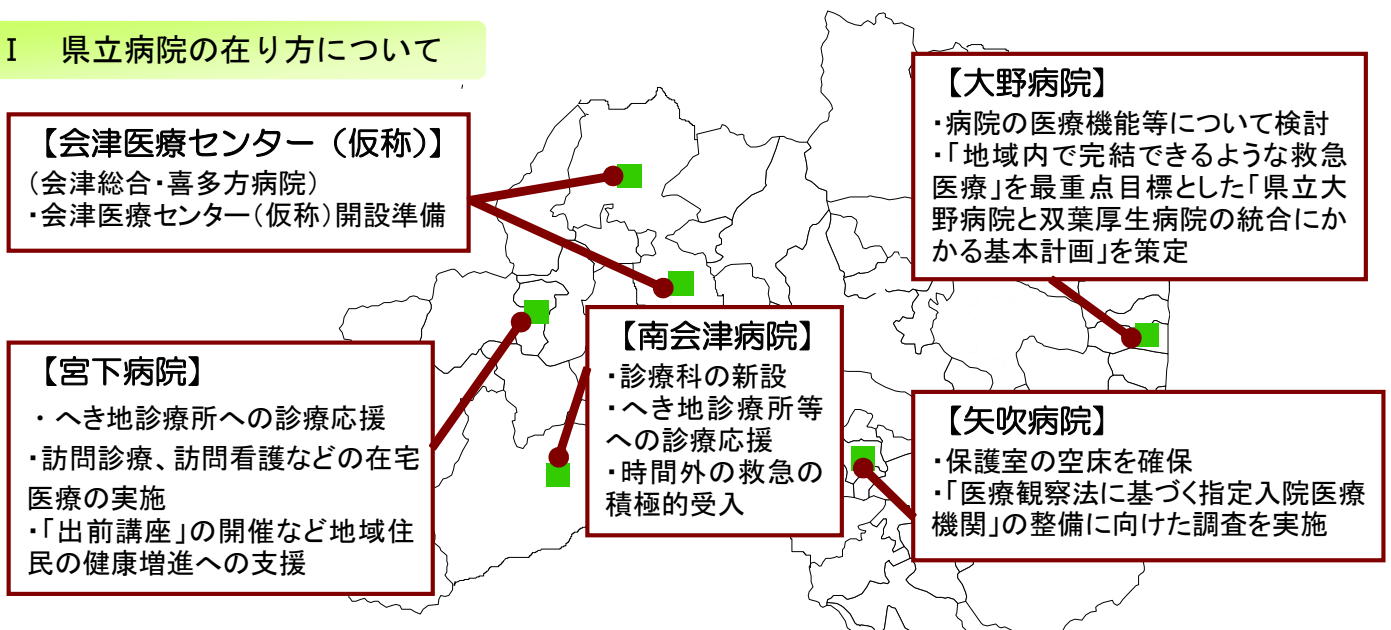
● 県立病院改革プランの取組状況について ●

■ 「県立病院改革プラン」(平成21年5月策定)の概要は次のとおりです。

基本目標	『地域に必要なとされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化』
計画内容	「県立病院の在り方」、「行動計画」、「収支計画」の3本柱
計画期間	改革プラン全体 : 5年間(平成21～25年度)
	経営健全化等に向けた行動計画: 3年間(平成21～23年度)

■ 改革プランの実施状況は毎年自己評価を行い、その結果について有識者で構成される「県立病院事業経営評価委員会」から助言・意見をいただいています。

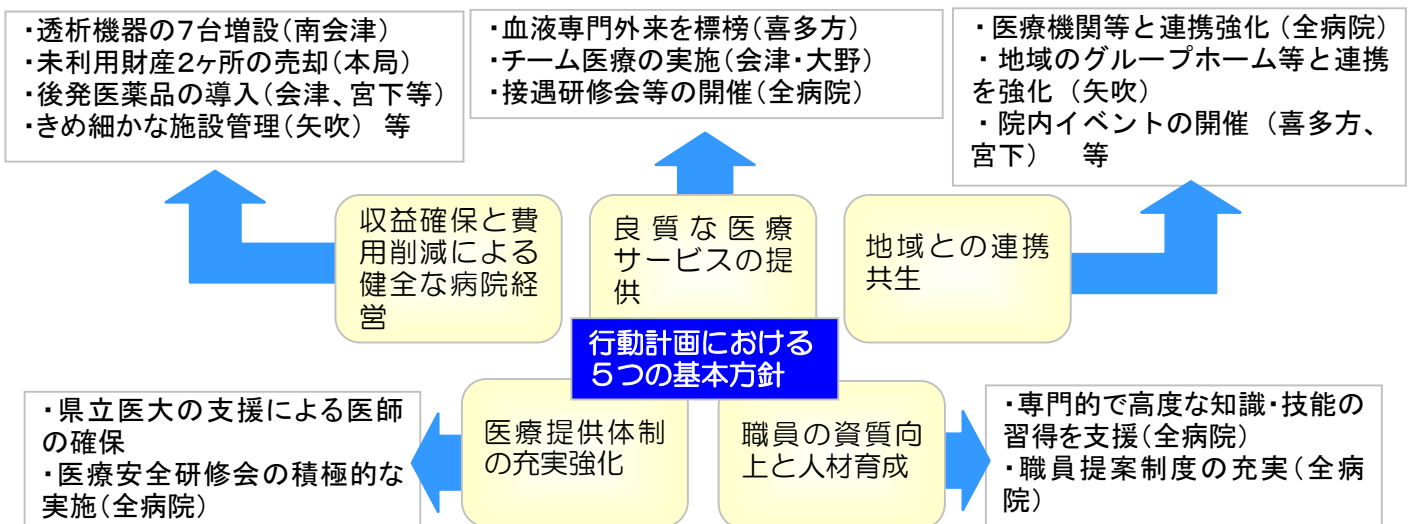
I 県立病院の在り方について



● 評価委員会の意見：地域に必要な医療提供体制を十分に踏まえ、目的を持って医師を確保し、地域で完結できる医療提供体制の構築に努めていく必要がある。

II 行動計画について

■ 「5つの基本方針」に基づき実践しています。昨年度の主な取組みについてご報告します。



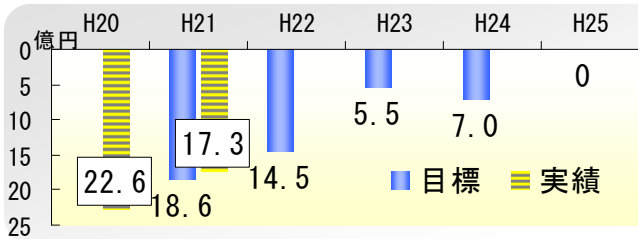
■ 「行動計画」における、数値目標を掲げた項目について自己評価を行いました。

区分	評価の基準			自己評価 悪 ← 良
	評価項目	目標値	実績値	
良質な医療サービスの提供	患者満足度調査での満足感	76%以上	77.4%	1 2 3 4 5
健全な病院経営	経常収支比率	86%以上	87.3%	1 2 3 4 5
	過年度未収金額	93百万以下	88百万	1 2 3 4 5
	職員給与比率	97%以下	106.9%	1 2 3 4 5
医療体制の充実強化	常勤医師数	57人以上	58人	1 2 3 4 5
	医療安全研修参加率	85%以上	76.1%	1 2 3 4 5
職員の資質向上と人材育成	資格取得者支援	20人以上	38人	1 2 3 4 5
	職員提案数	140件以上	105件	1 2 3 4 5
地域との連携・共生	紹介率	18%以上	16.7%	1 2 3 4 5
	病床利用率	54%以上	47.6%	1 2 3 4 5

● 評価委員会委員の意見：数値目標の達成状況だけでなく、「本来求められた成果」が現れているのかを十分に検証する必要がある。

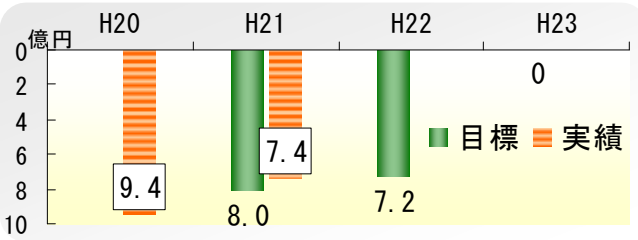
Ⅲ 収支計画について

①純損失（＝赤字）について




目標：平成 25 年度までに赤字解消を目指す
【21年度の状況】
 ■ 純損失は 17.3 億円で、改革プランの目標と比較し 1.3 億円改善しました
 ■ 医師不足により収益が大幅に減少したものの、国の臨時交付金の活用等によりカバーしました

②不良債務（＝資金の不足額）について



目標：平成 23 年度までに資金不足解消を目指す
【21年度の状況】
 ■ 不良債務額は 7.4 億円で、改革プランの目標と比較し 6 千万円改善しました
 ■ 今年度以降も収益を確保し、引き続き目標達成に向け取り組みましょう

● 評価委員会の意見：意識改革を行い、「一人ひとりが経営に参画している意識を持って積極的に取組を行い、結果を出す必要がある。」



鈴木局長

《鈴木局長からのひとこと》

- ▶ 県立病院の改革に向けて、各職員は自ら考え、実行する必要があります。
- ▶ 改革プランの実践を踏まえ、地域住民の皆様に対し「県立病院は変わった、よくなった」という姿をお見せしなければなりません。
- ▶ 「信頼される、地域に必要とされる病院」となるためには職員一人ひとりの真摯な取組みが不可欠です。